

2023年12月26日

「かんたんブレインチェック」の特許取得について

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、「認知症ケア」「いまから認知症保険」をご契約いただいたお客さま向けに提供している、認知機能チェックアプリ「かんたんブレインチェック」について、2023年10月13日に特許を取得しましたのでお知らせします。

当社は、人生100年時代を迎えるなか、お客さまや地域社会に寄り添い続ける会社として、社会課題である健康寿命の延伸やお客さまの「クオリティ・オブ・ライフ（QOL）」向上に資するサービスの開発に取り組んでおります。

今後も、お客さまの健康づくりのサポートをめざし、デジタル技術やヘルスケアの進展をふまえたコンテンツの拡充に取り組んでまいります。

1. 取得した特許の概要

| | |
|-------|---|
| 発明の名称 | 情報処理方法、情報処理装置、プログラム、記録媒体 |
| 概要 | ユーザの回答結果に基づいて算出された特徴量を学習済みモデルに入力し、ユーザがMCIであるか否かを判定※する情報処理方法、情報処理装置、プログラム、記録媒体 |
| 特許権者 | 明治安田生命保険相互会社 国立大学法人 筑波大学 |
| 特許番号 | 第7366368号 |
| 登録日 | 2023年10月13日 |

※ 「かんたんブレインチェック」が提示するユーザの認知機能に関する評価は、独自の統計モデルからその正答率や回答スピード等で認知機能の状態を推定したものであり、ユーザの個別の健康状態に対して、医師の医学的診断に基づく疾病の診断をするものではありません

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

明治安田生命保険相互会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1



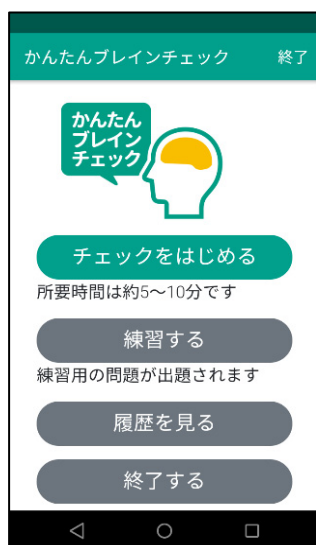
2. かんたんブレインチェックについて

(1) 概要

| | |
|------|---|
| 名称 | かんたんブレインチェック |
| 対象商品 | 認知症ケア、いまから認知症保険 |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> アプリを通じて、ユーザの認知レベルを判別するために統計的な有意差があると判定された6つの問題を出題 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center;"> <div style="margin: 10px;"> <p>1</p> </div> <div style="margin: 10px;"> <p>2</p> </div> <div style="margin: 10px;"> <p>3</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin: 10px;"> <p>4</p> </div> <div style="margin: 10px;"> <p>5</p> </div> <div style="margin: 10px;"> <p>6</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> 上記問題のユーザの回答から認知機能の状態を3段階で評価 |

(2) 画面イメージ

【トップ画面】



【評価結果画面】



3. 筑波大学の概要

| | |
|-------|--|
| 団体名 | 国立大学法人 筑波大学 |
| 学長 | 永田 恭介 |
| 所在地 | 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 |
| 設立 | 1973年（昭和48年）10月 |
| 公式HP | https://www.tsukuba.ac.jp/ |
| 建学の理念 | <p>筑波大学は、基礎及び応用諸科学について、国内外の教育・研究機関及び社会との自由、かつ、緊密なる交流関係を深め、学際的な協力の実をあげながら、教育・研究を行い、もって創造的な知性と豊かな人間性を備えた人材を育成するとともに、学術文化の進展に寄与することを目的とする。</p> <p>従来の大学は、ややもすれば狭い専門領域に閉じこもり、教育・研究の両面にわたって停滞し、固定化を招き、現実の社会からも遊離しがちであった。本学は、この点を反省し、あらゆる意味において、国内的にも国際的にも開かれた大学であることをその基本的性格とする。</p> <p>そのために本学は、変動する現代社会に不断に対応しつつ、国際性豊かにして、かつ、多様性と柔軟性を持った新しい教育・研究の機能及び運営の組織を開発する。</p> <p>更に、これらの諸活動を実施する責任ある管理体制を確立する。</p> |

以上